

タフモニターアーム BMA-1TG 取扱説明書

※小さなお子様のご使用になる場合は※
保護者の方が当取扱説明書をよくお読みになり、使用中はお子様につき添ってください。

本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品をご使用の際は必ず本書をお読みいただき、ご理解の上、正しくご使用ください。また、お読みいただいた後も、この説明書は大切に保管してください。お買い上げ日、または商品到着日から7日間以内に不具合が無いかをご確認くださいますようお願いいたします。該当期間を過ぎた場合は、製品保証の対象外となる場合もございますので、あらかじめご了承ください。

本製品はモニター用アームとして使用されることを目的としています。
それ以外の目的で使用しないでください。

FOR USE IN JAPAN ONLY

使用者は、必ずこの取扱説明書の内容を理解してからご使用下さい。
Read this instruction manual and make sure you thoroughly understand its contents before using this product.

品質表示

型番	BMA-1TG
構造部材	金属（スチール、アルミニウム合金）、ABS、EVA
表面加工	エポキシ樹脂粉体塗装
原産国	中国
耐荷重	アーム：2kg以上、20kg以下



警告

死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。

- 本製品にはガスが充填されている部品が使用されています。
以下の行為は重大な事故につながるため、絶対におやめください。
 - ガスシリンダーの分解および改造
 - ガスシリンダーに傷をつけたり、破損したりするような衝撃を与えること
 - 火気の中への投入
 - 火気のそばでの使用
 - 屋外での使用
 - 高温になる場所や直射日光が当たる場所に長時間放置すること



注意

傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。



組み立てのご注意

- 組み立ておよび設置は大人2人以上で行ってください。
- 組み立てる前に各部品に不足や不具合がないかご確認ください。
不足や不備があった場合は、直ちに組み立てを中止してください。
- けがや汚れを防止するため、必ず手袋を着用して組み立ておよび設置を行ってください。
- 組み立て時は、床や壁、他の家具の傷を防止するために敷物を敷いてください。
- ネジ・ボルトの取り付け前に、ネジ・ボルト穴の異物をきれいに取り除いてください。
- ネジ・ボルトは最初からきつく締めないでください。まず全てのネジ・ボルトを仮締めし、きちんと組み合わさったことを確認してから、最後にしっかりとネジ・ボルトを固定してください。
- 全てのパーツを正しく取り付けてください。
- 製品の使用前に、各部品がしっかりと固定されていることをご確認ください。



使用上のご注意

- 本製品のいずれかの部品にひび・破損などの異常が生じた場合は直ちに使用を中止してください。
けがをするおそれがあります。
- 本製品は水平で安定する面に取り付けてご使用ください。破損やけがをするおそれがあります。
- 本製品の耐荷重は、2kg以上、20kg以下です。取り付けるモニターが軽すぎると、アームの位置が固定できないため、必ず耐荷重内のモニターを取り付けてください。
- 本製品にぶら下がったり、もたれたりしないでください。破損やけがをするおそれがあります。
- 事前にアームの可動範囲をお確かめのうえ、本製品の設置場所をご検討ください。壁や人にぶつかると、破損やけが、モニターの故障につながるおそれがあります。
- 本製品に取り付けたモニターを動かす際は、必ず両手で操作してください。片手で無理に動かそうとすると、アームの関節部や固定部、またはモニターが破損するおそれがあります。
- アームを動かす際、デスク天板上よりも外側の位置で使用しないでください。デスクが転倒し、破損やけがをするおそれがあります。
- 本製品は多くの関節部により構成されています。ご使用の際は、関節部に指などを挟まないよう十分ご注意ください。
小さなお子様が使用する場合や、近くにいる場合は特にご注意ください。
- 本製品の使用にあたり生じた、周辺機器および物品の破損・故障等の問題については、弊社にて補償いたしかねます。
本製品を正しく使用している際に生じた場合でも同様ですので、予めご了承ください。
- 本製品にはクッションとしてEVAが使用されています。デスク天板の表面処理によっては移染するおそれがあります。



メンテナンス・廃棄方法

- 各パーツに破損や異常がないか、定期的に製品全体を点検してください。破損や異常が認められた場合は、直ちに使用を中止してください。
- ボルト・ネジや各パーツに緩みがないか、定期的に製品全体を点検してください。緩みがある場合は、しっかりと固定し直してください。
- 本製品が濡れたり湿ったりした場合は、直ちに乾いた布で水分を十分に拭き取り、風通しの良い日陰でよく乾かしてください。濡れたまま放置しておくと、サビや臭気の原因となります。
- 本製品を廃棄の際は、各地方自治体の廃棄区分に従って廃棄してください。

【製品のお手入れ方法】

- 本製品を清掃する際はアルコール・ベンジン・磨き粉などは使用しないでください。変色や変形の原因となります。
- 本製品を清掃する際は、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 本製品を水拭きする場合は、固く絞った柔らかい布で拭き上げ、直射日光が当たらない風通しの良い場所で十分に乾燥させてください。湿気が残っていると、劣化やサビの原因となります。

■ 組立前にお読みください



注意

確実な組み立てのため、ネジ・ボルトを取り付ける際はまず手で回して取り付けてください。ネジ穴に正しいネジ・ボルトが真っ直ぐ入ったことを確認し、全ての部品を組み合わせてから最後にドライバー・レンチでしっかりと増し締めしてください。

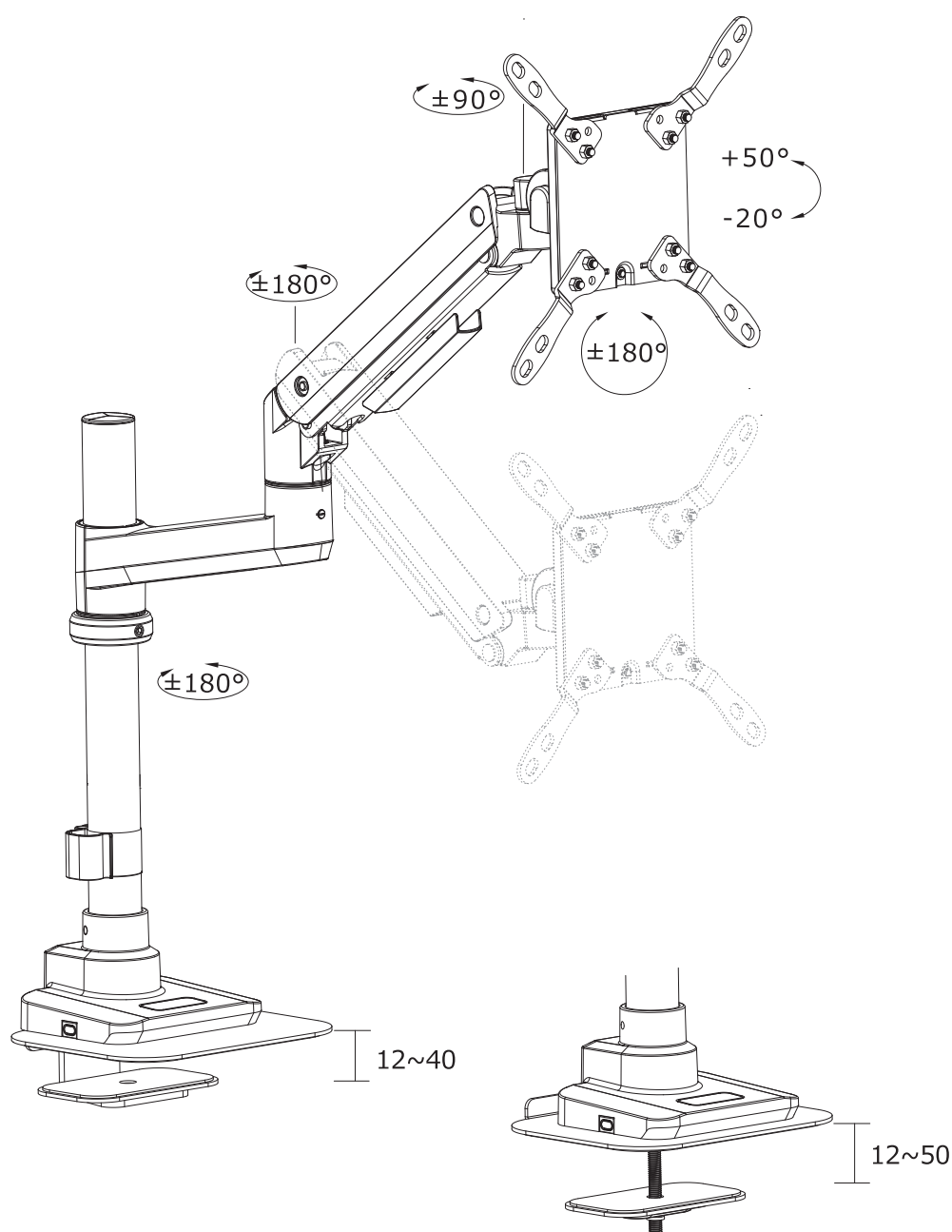
最初にきつくネジ・ボルトを締めてしまうと、後から組み立てる部品においてネジ・ボルトとネジ穴位置が合わなくなることがあります。

無理な力で斜めにねじ込むとネジ穴がつぶれネジ・ボルトが入らなくなります。

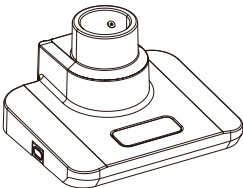
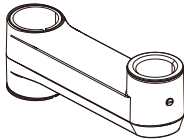
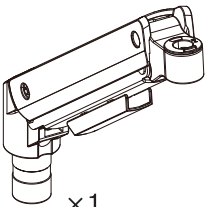
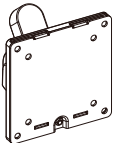
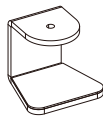
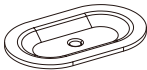
また、誤ったネジ・ボルトを使用すると製品が破損する場合があります。

※誤った組立方法にて製品が破損した場合は、製品保証の対象外となりますのでご注意ください。

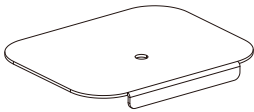
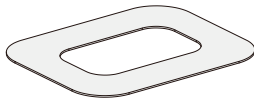
■ 全体図

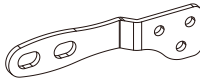
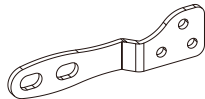


部品・付属品

A	ポール ※補助リング付き	B	ベース	C	アームA
 ×1		 ×1		 ×1	
D	アームB	E	アームヘッド	F	クランプベース
 ×1		 ×1		 ×1	
G	グロメットベース	H	ケーブルクリップ ポール用	I	ケーブルクリップ ベース用
 ×1		 ×1		 ×1	
J	アームヘッド用ワッシャー	K	アームヘッド用ボルト M8×25mm	L	クランプベース用ボルト M8×50mm
 ×1		 ×1		 ×1	
M	グロメットベース用ボルト M8×130mm	N	六角レンチ 4mm	O	六角レンチ 6mm
 ×1		 ×1		 ×1	

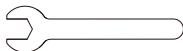
■ 部品・付属品

P	天板補強プレート（天板上側）	Q	天板補強プレート用パッド（天板上側）	R	天板補強プレート用パッド（天板下側）
					
×1		×1		×1	

S	天板補強プレート（天板下側）	T	VESA延長アーム(A)	U	VESA延長アーム(B)
					
×1		×2		×2	

V	VESA延長アーム用ボルト M5x12mm	W	VESA延長アーム用ナット M5	X	VESA用ボルト（A） M6x14mm
					
×8		×8		×4	

Y	VESA用ボルト（B） M8x20mm	Z	ワッシャー（A）	A1	ワッシャー（B）
					
×4		×4		×8	

A2	レンチ（B） 8mm	M-A	VESA用ボルト(C) M4x12mm	M-B	VESA用ボルト(D) M5x12mm	M-C	ワッシャー（C）
							
×1		×4		×4		×4	

※別途プラスドライバーをご用意ください。

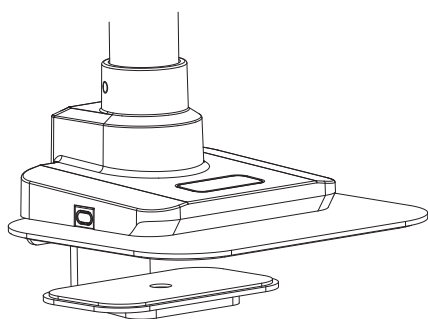
■ 組み立てる前に

本製品は2種類の方法でデスクに固定することができます。

■ クランプ方式 → [5ページへ](#)

クランプでデスクを挟み込んで固定する方法です。

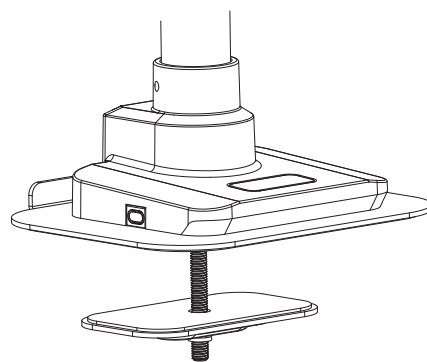
対応天板厚 12～40mm
取付に必要な天板奥行き 70mm



■ グロメット方式 → [7ページへ](#)

デスクに穴を開け、スクリーを通して固定する方法です。

対応天板厚 12～50mm

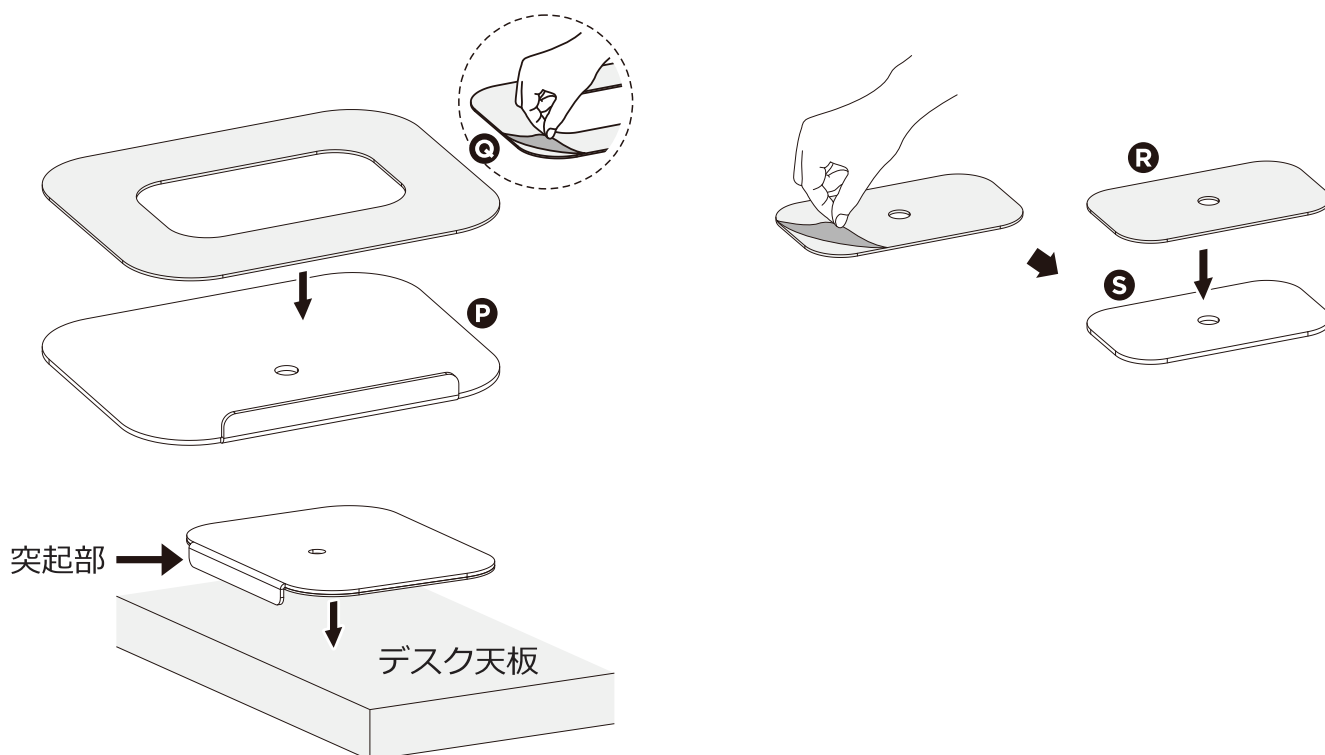


7
ページへ

■ 組み立て手順

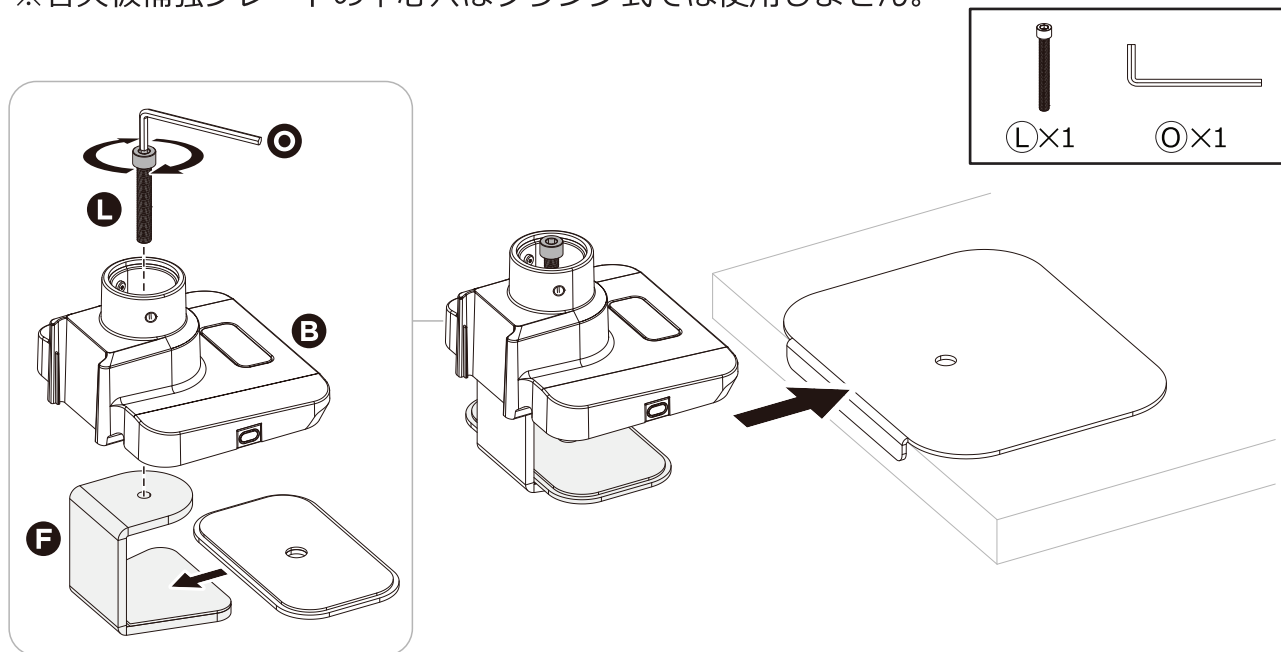
I. クランプ方式で固定する場合

- 1 (S)天板補強プレートと、(P)天板補強プレートの突起部がある側に、(Q)(R)プレート用パッドを貼り付けます。(P)天板補強プレートを突起部がデスク天板と密接するようにして設置します。

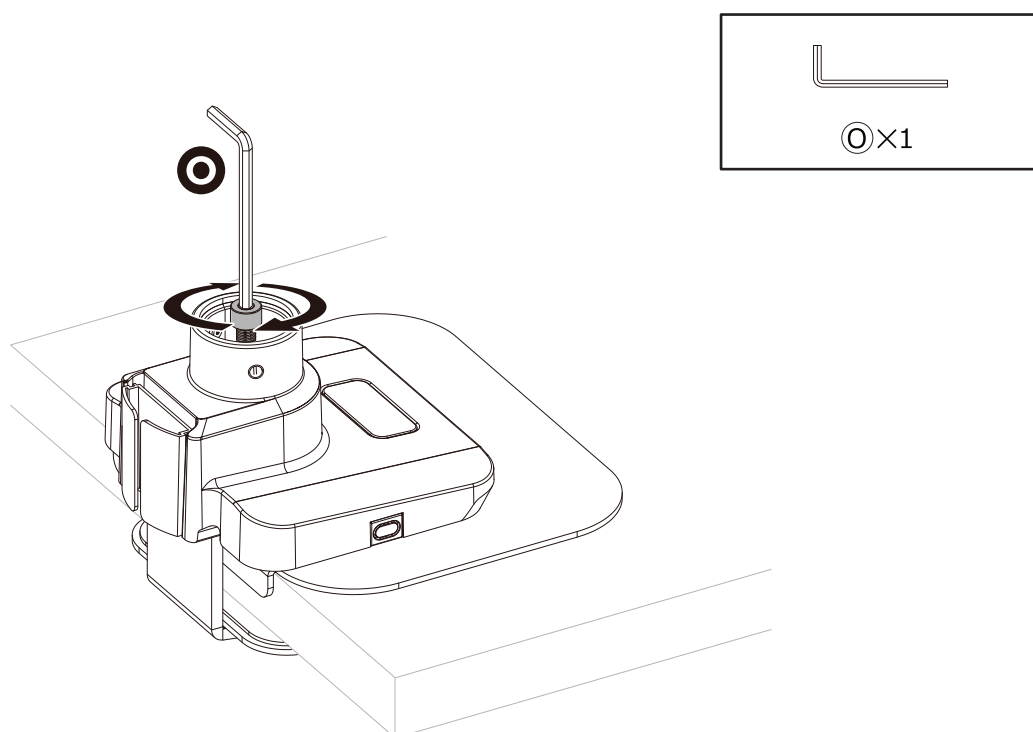


- 2 基部を組み立てます。(B)ベースの下側から(F)クランプベースを差し込み、ベース上側の穴から(L)ボルトをねじ込んでクランプベースを仮固定します。次に 1 で組み立てた(S)天板補強プレートをクランプベースの上に置いてから、(P)天板補強プレートの中心を挟む位置でデスク天板に取り付けてください。

※各天板補強プレートの中心穴はクランプ式では使用しません。



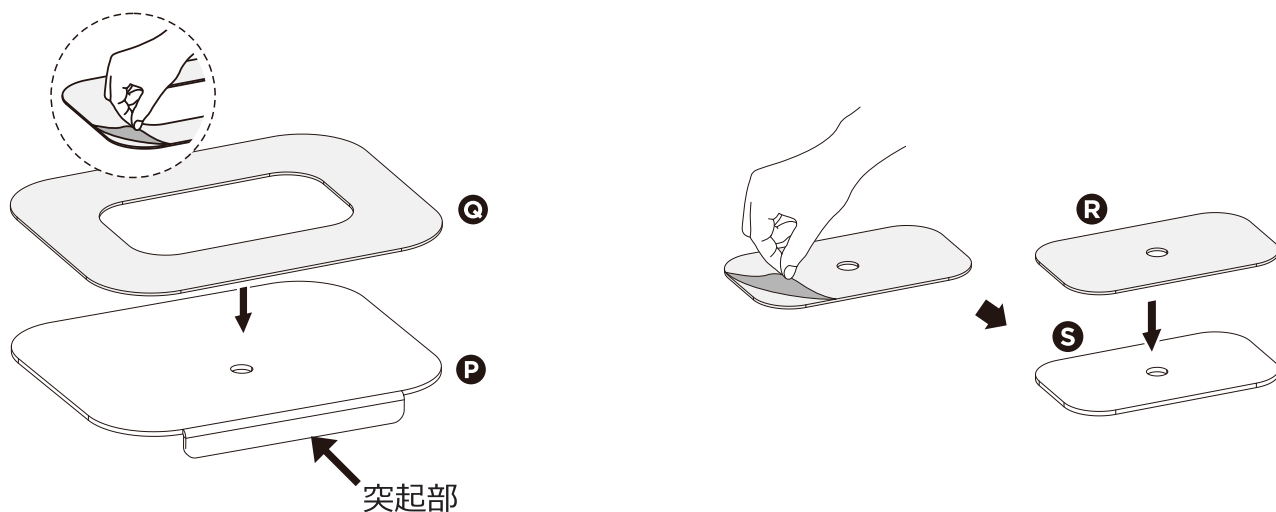
- 3 天板補強プレートとデスク天板、ベースにずれや偏りがないことを確認してから、ボルトをしっかり締めてベースをデスク天板に固定します。



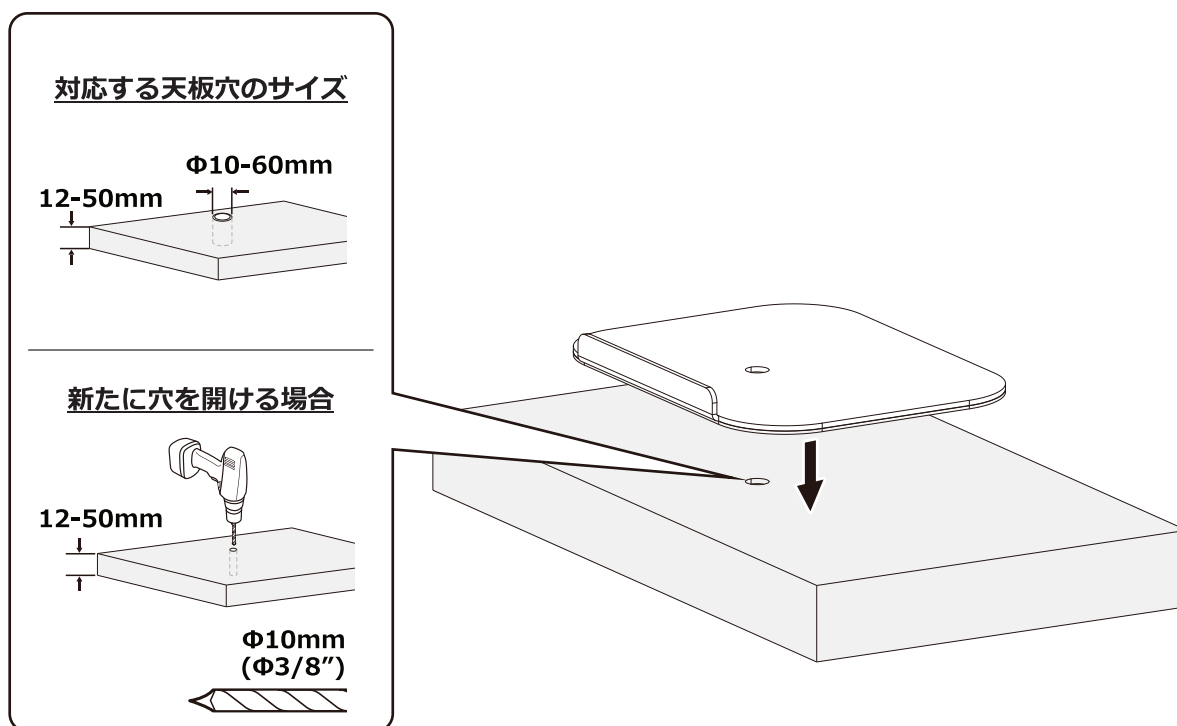
手順 7 へ→

Ⅱ. グロメット方式で固定する場合

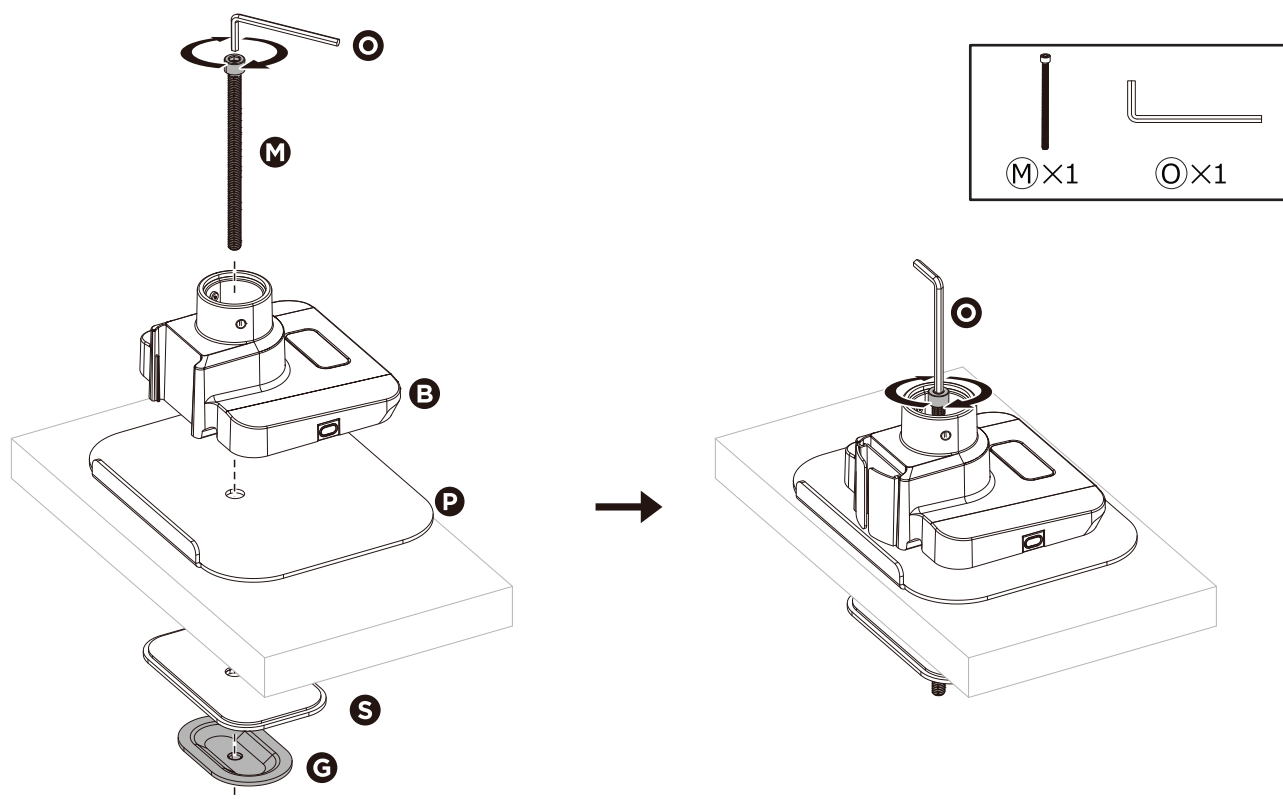
- 4 (P)(S)天板補強プレートに、(Q)(R)プレート用パッドを貼り付けます。
(P)天板補強プレートは突起が無い側にパッドを貼り付けてください。



- 5 (P)天板補強プレートをデスク天板の穴に合うように設置します。この際、天板の穴が下記の要件を満たしているのか確認してください。

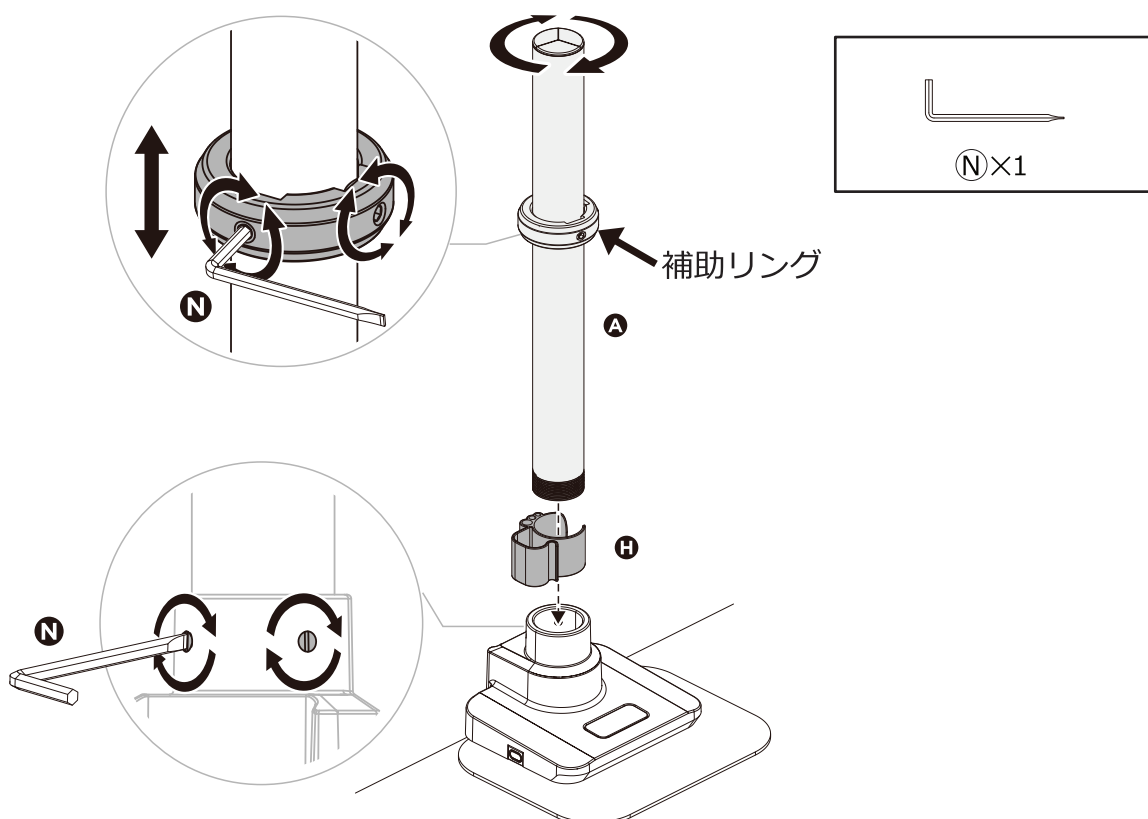


- 6 基部を固定します。(B)ベース上側の穴から(M)ボルトをねじ込み、上から(P)天板補強プレート、デスク天板、(S)天板補強プレート、の順番となるよう、それぞれの穴を通して重ねた後に(G)グロメットベースをボルトでしっかりと固定してください。

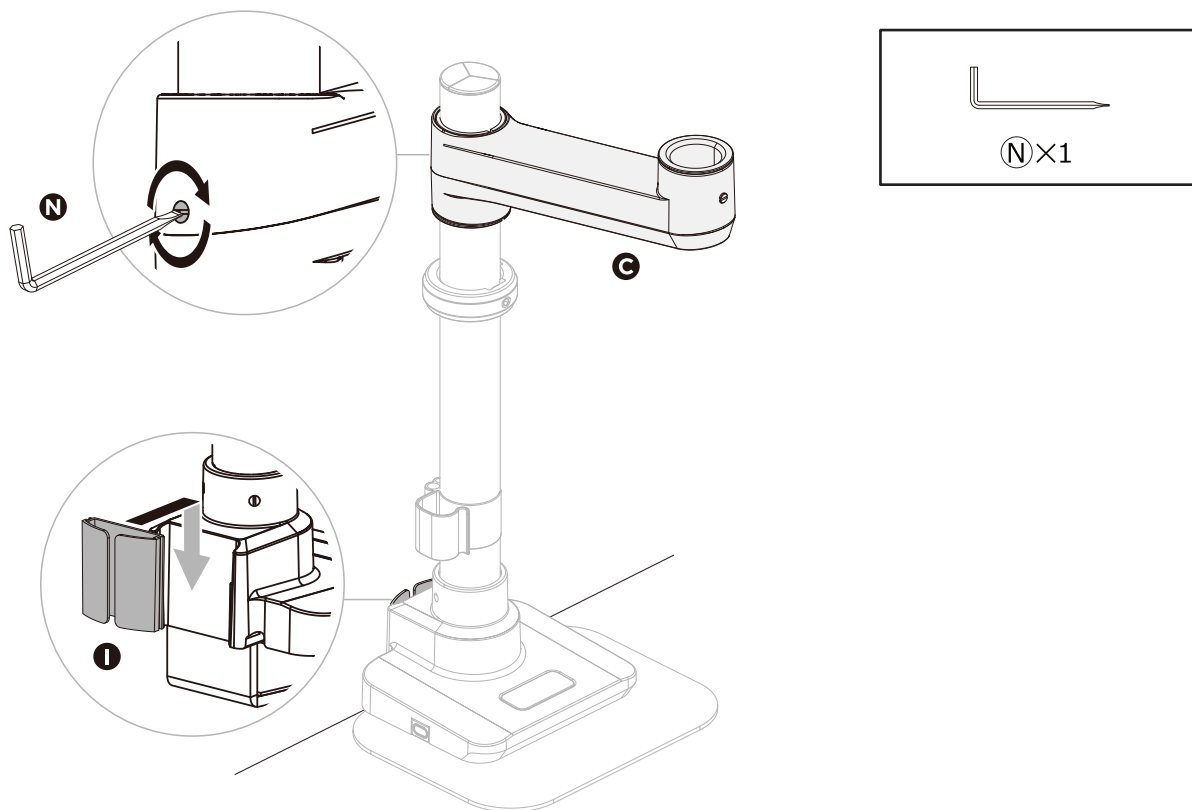


● ここから共通手順です。

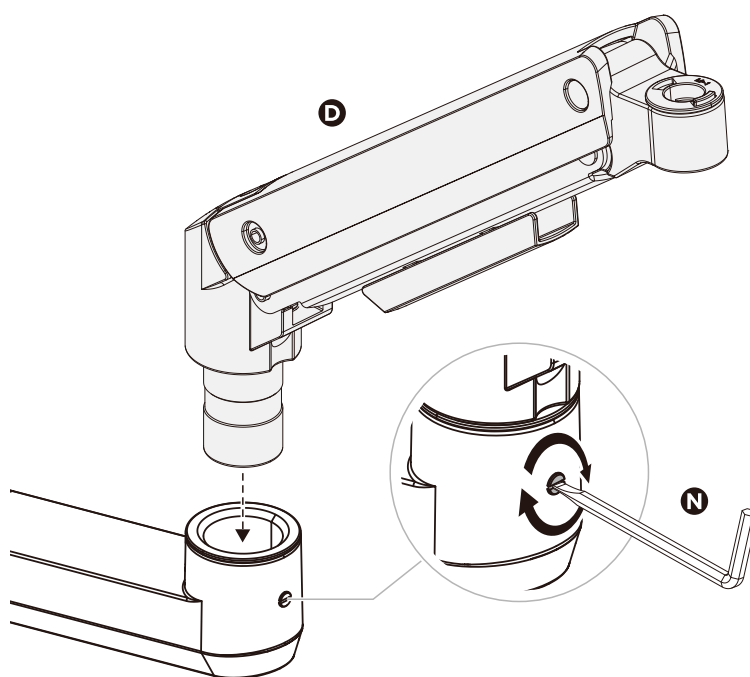
- 7 (A)ポールをベースに固定します。その際、ベース後ろ側のマイナスネジが緩んでいるかあらかじめ確認してください。(H)ケーブルクリップをポールに通してからポールが動かなくなるまでベースに回し入れます。次に(N)レンチのマイナスドライバー側でベースのマイナスネジを締めてポールを完全に固定します。ポールに固定されている補助リングもボルトを緩め、好みの位置に上下移動させてからボルトを締めて固定してください。



- 8 (C)アームAをボールに取り付けます。アーム基部裏側のマイナスネジを締めてください。アームAの左右の動きをなくし固定したい場合は強く締め込んでください。
次にベース裏側の溝部に(I)ケーブルクリップを上から差し込んでください。

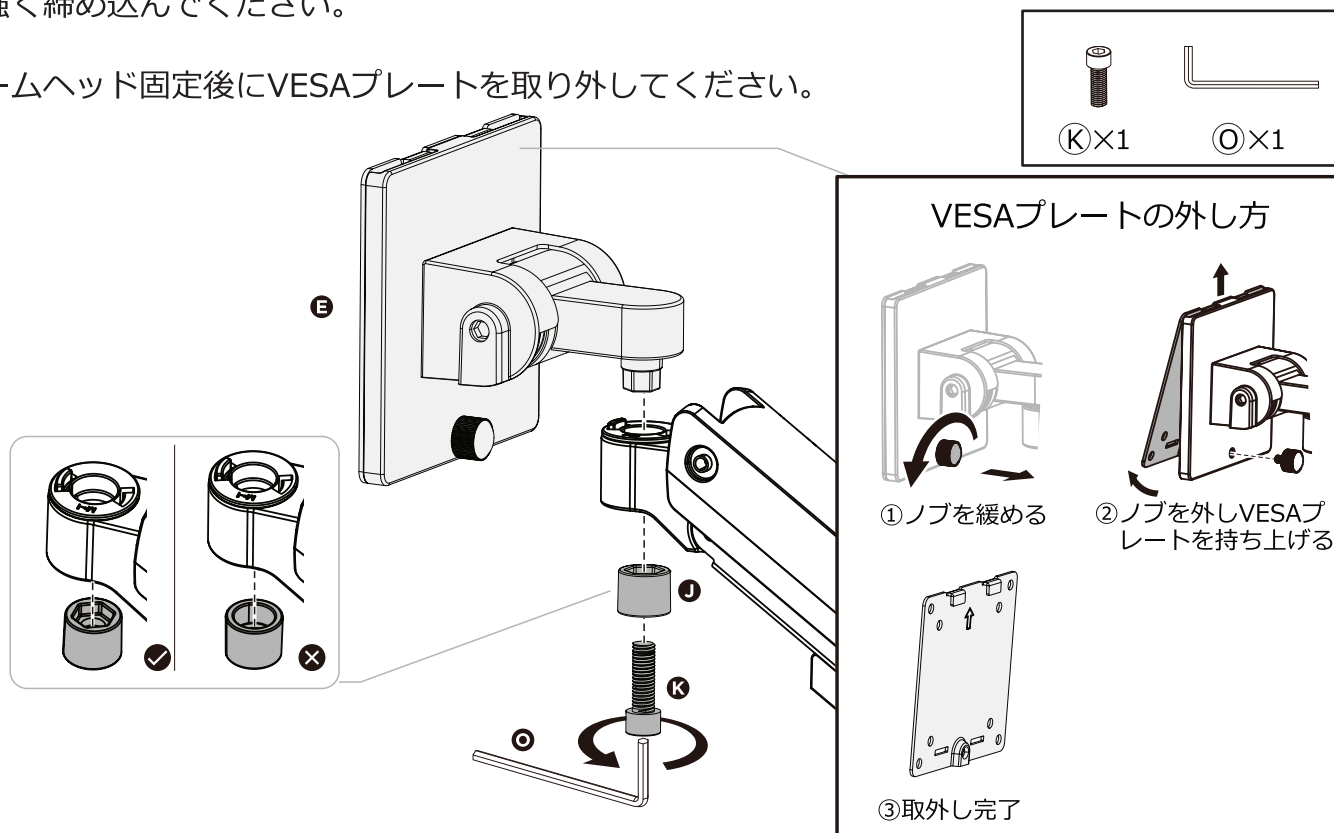


- 9 (C)アームAの先端に(D)アームBを取り付けます。アームBが抜けないう、アームA先端のマイナスネジを締めてください。アームBの左右の動きをなくし固定したい場合は強く締め込んでください。



- 10 (E)アームヘッドを取り付けます。(J)アームヘッド用ワッシャーは六角形の凹みがある側を上側にして差し込み、(K)ボルトを締めてください。アームヘッドの首振り無くし固定したい場合は強く締め込んでください。

アームヘッド固定後にVESAプレートを取り外してください。

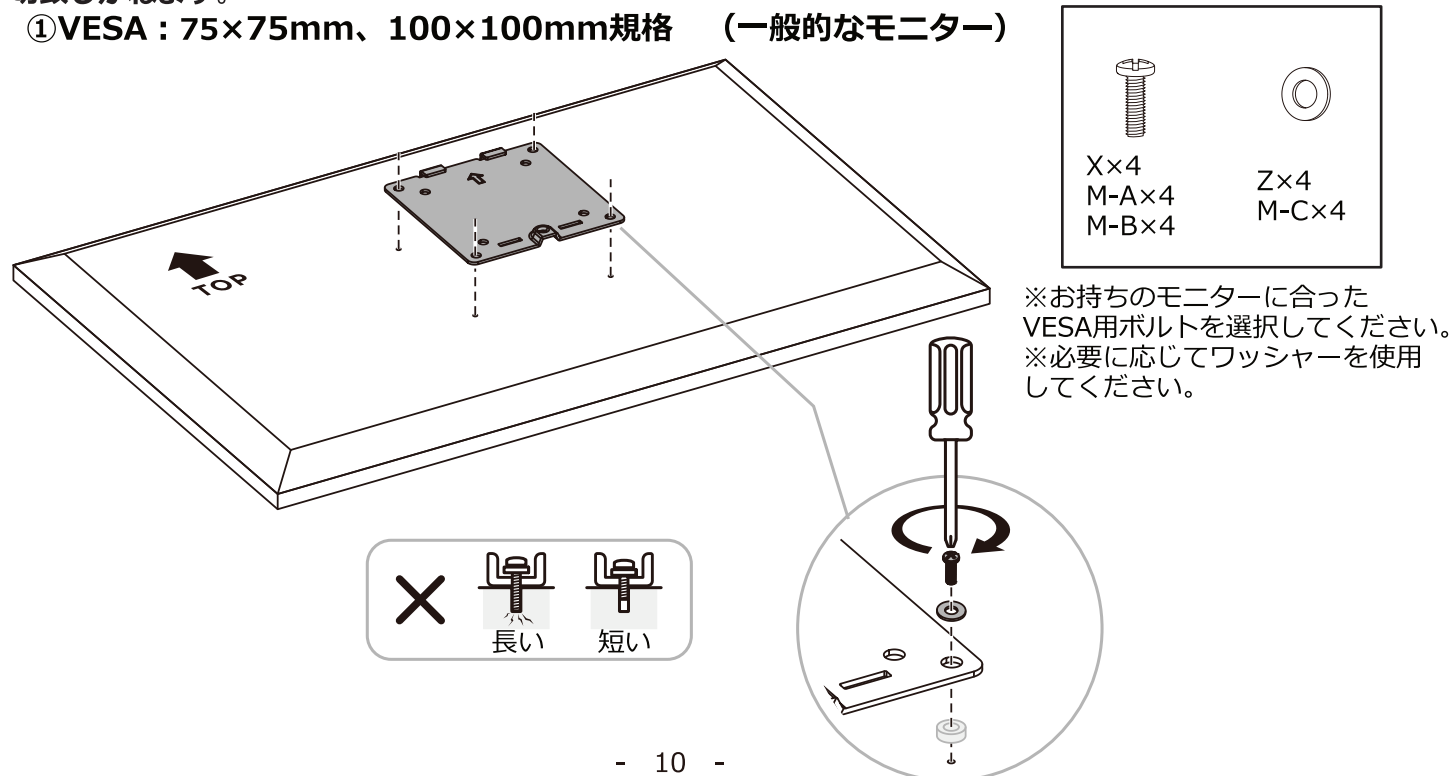


- 11 10で取外したVESAプレートをモニター裏に取り付けます。モニター側のVESA穴の間隔やボルトのサイズを確認して、必要に応じて(T)(U)VESA延長アームをVESAプレートに取り付けてください。プレート取付時は↑のある面を表面側に、かつ矢印方向が上向きとなるよう注意してください。

※VESAネジをモニターへ完全固定する前に、脱落しないか、長さに過不足がないか確認してください。

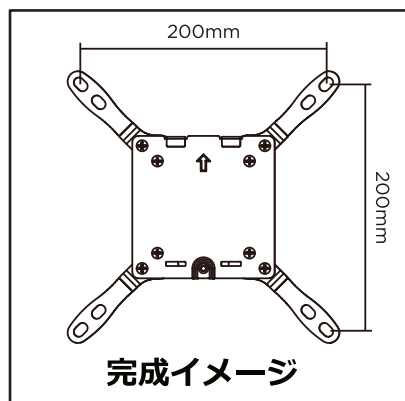
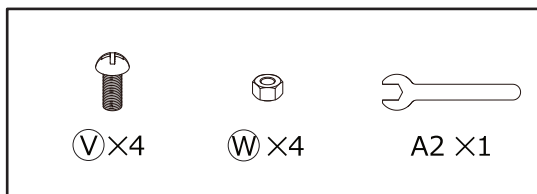
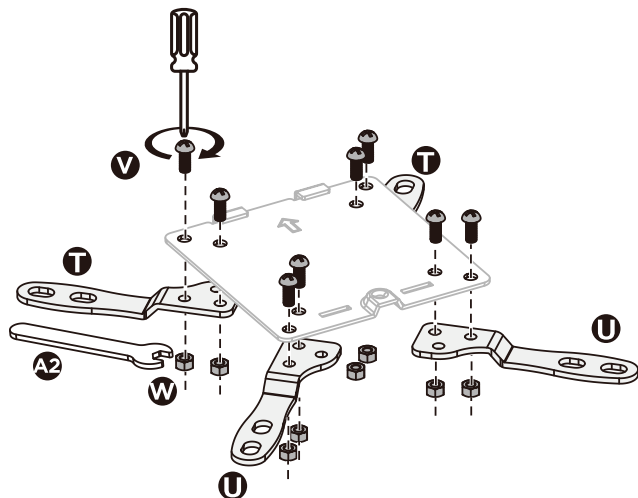
※お持ちのモニターに適合しないネジや、ネジの締め込みすぎ等でモニターが破損した場合の保証は一切致しかねます。

①VESA : 75×75mm、100×100mm規格 (一般的なモニター)

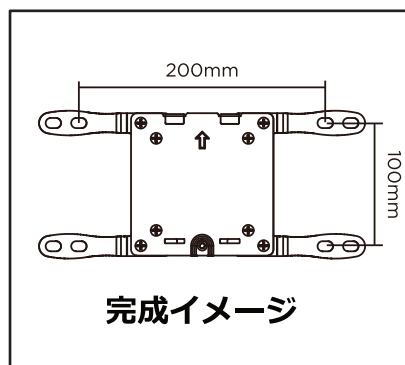
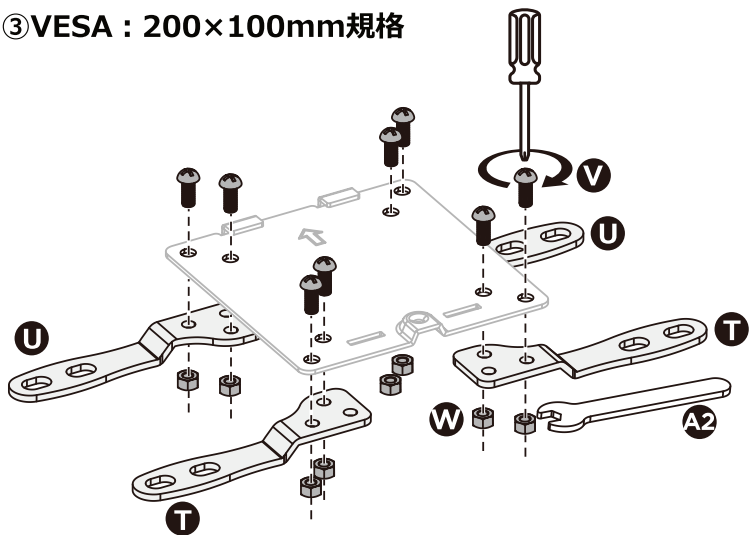


下記のVESA規格のモニターを取り付ける場合は、(T)(U)VESA延長アームを取り付けてください。2種類の延長アームは、規格によって取付位置が異なるため注意してください。
(V)ボルトは仮止めし、モニターにVESAプレートを取り付けてから本締めしてください。

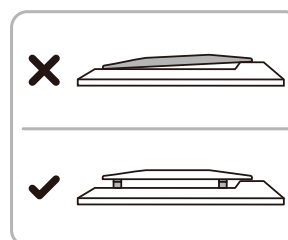
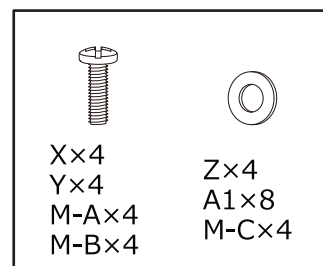
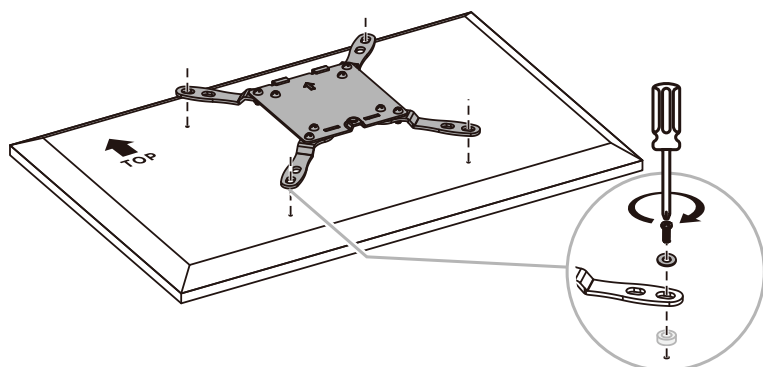
②VESA : 200×200mm規格



③VESA : 200×100mm規格



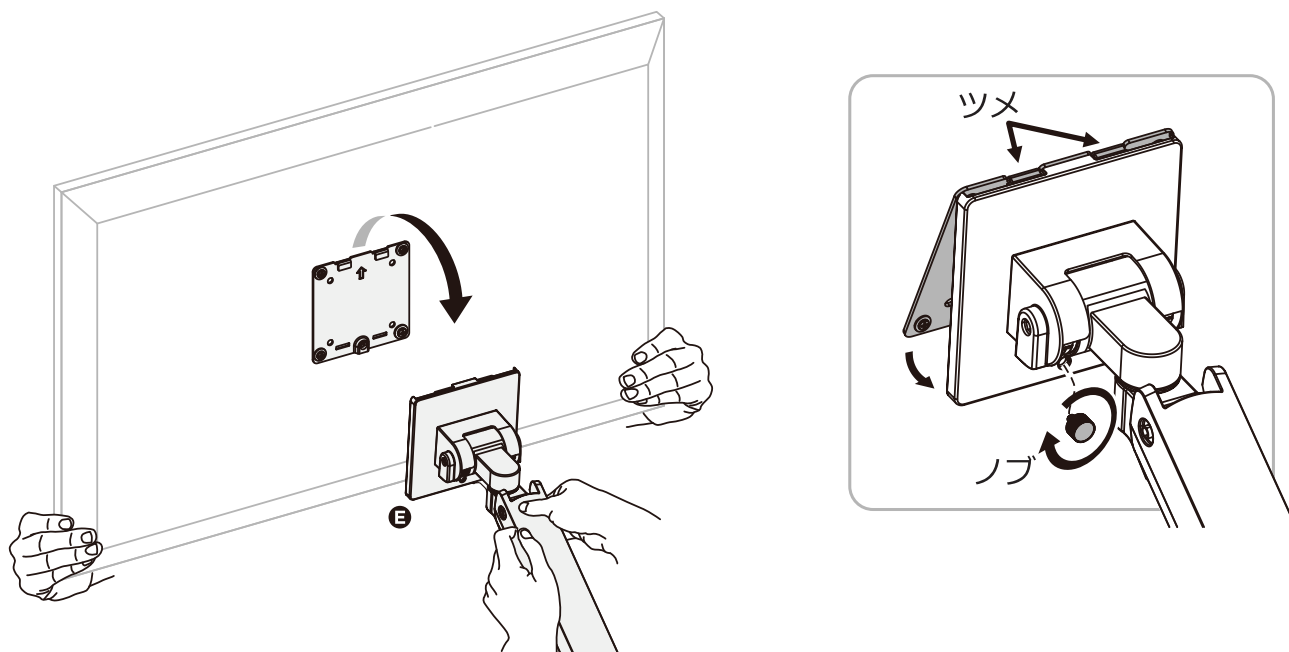
・モニターへの取付イメージ



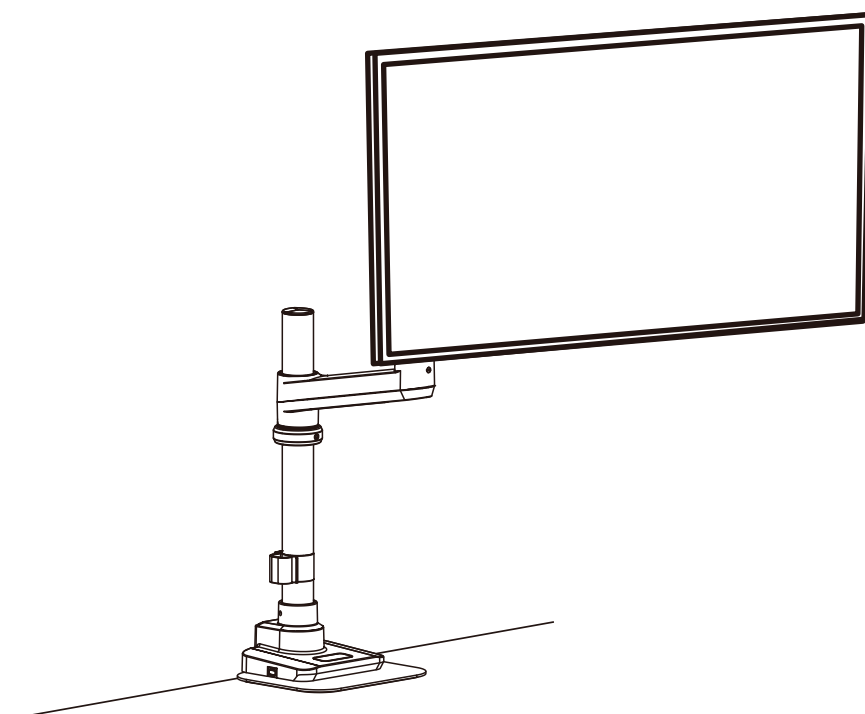
※VESAプレートは必ずモニターと水平になるように取り付けてください。

- 12 (E)アームヘッドにVESAプレート上部のツメを引っ掛けるようにしてモニターを取り付け、
10で取り外したノブを締め込みます。

※モニターをアーム側に固定する際は、2人以上で作業してください。



- 13 完成です。



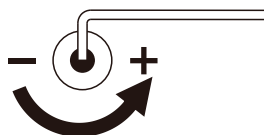
■ 各所調整方法

●アームの固定力調整

取り付けるモニターの重量によっては、アームが自動的に下がってしまう/上がってしまう場合があります。その際は、下記手順にしたがってアームの固定力を調整してください。

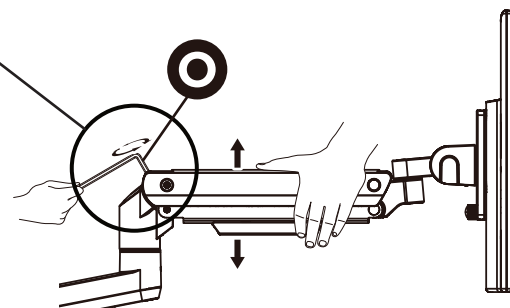
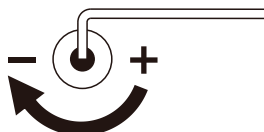
アームが下がってしまう場合

アームが下がらなくなるまで調整ネジを反時計回りに回してください。



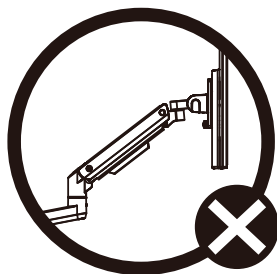
アームが上がってしまう場合

アームが上がらなくなるまで調整ネジを時計回りに回してください。

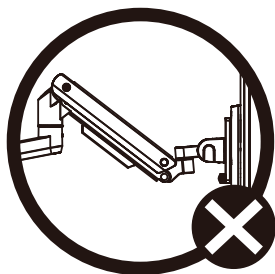


⚠ ネジの締めすぎに注意

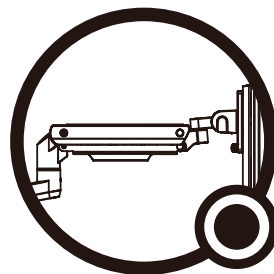
※アームは水平に伸ばした状態で、必ず手で支えながら作業を行ってください。



アームが上がる



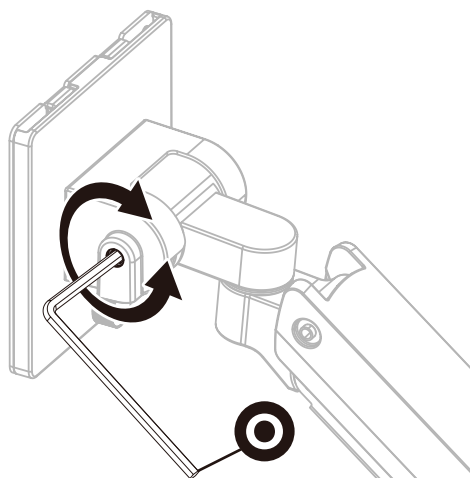
アームが下がる



適正

●チルト関節の固定力調整

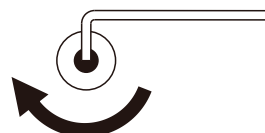
アームヘッドのチルト関節（上下の角度調整）が硬すぎる/緩すぎる場合は、下記手順にしたがって固定力を調整してください。関節にバネが内蔵されているため、軽いモニターや関節の固定力が緩いとモニターが上向きになる場合があります。



⚠ ネジの締めすぎに注意

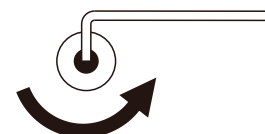
チルト関節が緩い場合

調整ネジを時計回りに回してください。
調整ネジが締め、可動部分の固定力が
増します。



チルト関節が硬い場合

調整ネジを反時計回りに回してください。
調整ネジが緩み、可動部分が動かしやす
くなります。



※必ずモニターを手で支えながら、両手で作業を行ってください。

●ケーブル収納

アームの下部にケーブルを収納することができます。

収納したケーブルはお好みの位置に取り付けた⑫ケーブルクリップを使用することですっきりと整理することが可能です。

